

<平成 23 年度>

アンケート回答者のうち、HIV 検査目的以外で受診した例は、男性患者 66.5%、女性患者 72.0%、CSW32.1%であったが、これらのうち、無料検査希望者は、95-98%と高率であった。HIV 受検経験者の割合は、男性患者 45.5%、女性患者 36.8%、CSW83.3%で、複数回経験者は、それぞれ、48.5%、48.6%、96.4%であった。HIV 感染リスク認知が「全くない or 低いと思う」と回答した者は、男性患者 68.8%、女性患者 58.6%、CSW40.9%と、リスク認知が不十分な状況が示唆された。HIV 関連知識（8 項目）に関しては、正解率 70%以上が多く、知識レベルは一般に低くはないが、「性感染症に罹っていると HIV に感染しやすい」、「保健所では名前を言わず無料で検査できる」、「HIV 検査で感染が分かった場合、名前や住所が国に報告される」の正解率は低かった（それぞれ、54-69%、63-69%、27-40%）。

以上の結果より以下の点が示唆された。

- (1) STD クリニックの男性外来患者の HIV 抗体陽性率は約 1-2%程度で、保健所等での検査より高率であった。
- (2) 無料 HIV 検査へのニーズが非常に大きく、また、HIV 抗体陽性者の半数が HIV 検査目的の外受診者であったことから、無料検査を STD クリニックで行うことにより、HIV 検査促進を図ることができ、かつ効率よく HIV 感染者を発見できる可能性が示唆された。
- (3) STD クリニック受診者の中には、HIV 感染へのリスク認知が低く、「性感染症に罹っていると HIV に感染しやすい」という予防上重要な知識の普及も不十分であることから、今後の啓発の重要性が示唆された。

## 1. 研究の背景と目的

わが国において、HIV 感染者報告数は依然として上昇傾向が続き、AIDS 患者の発生も先進国としては異例に未だ減少傾向がみられていない[1]。特に後者は、HIV に感染しても検査を受けることなく潜在している感染者が多いこと、つまり HIV 検査体制が不十分であることを示唆するものとなっている。わが国の HIV 感染者/AIDS 患者報告例中、性感染例は約 90% を占めており、こうした性感染 HIV 症例の発見効率を高めることは、より正確な HIV 流行の現状把握と予防促進に役立つという意味で、我が国のエイズ対策において、極めて重要な意義がある。

この意味で、性行為による疾患を扱う STD クリニックは、潜在 HIV 感染者がアクセスする可能性が最も高い場所として、国際的にもエイズ対策上重要な位置づけを与えられているが、わが国では、STD クリニックを検査機会として位置づける施策は実現していない。こうした背景を踏まえ、受診者（男女外来患者と検診に

訪れた CSW）に無料 HIV 抗体検査を提供して、HIV 感染率のモニタリングを継続することとし、かつ、受診者の HIV 検査ニーズ、HIV 関連基本知識、性行動の状況を把握するためのアンケート調査を実施した。

## 2. 対象と方法

### (1)対象者とサンプリング

- ① 外来患者：東京、川崎、前橋、札幌、京都において STD 外来をもつ合計 9 医療機関を各年度 9 月 1 日から 12 月 31 日の間（一部の医療機関では翌年 2 月末日まで）に受診した患者
- ② 上記期間中、定期検診（HIV 検査を含む）を目的に来所した女性セックスワーカー。
- ③ サンプリングは、上記①、②とも、連続サンプリングとし、20 歳以上の成人を対象とした。研究期間中に、割り当てたサンプル数に達した医

療機関では、その時点でサンプリングを打ち切った。

## (2) 方法

- ① 上記の対象者の同意を得て、血液による無料 HIV 抗体検査を行った。
- ② 全受診者に対して、HIV 検査ニーズ及び HIV 関連基本知識、性行動に関するアンケート調査を依頼した。
- ③ HIV 検査が陽性であった症例に対しては、確認検査を行い、専門の医療機関を紹介した。

## (3) 倫理的配慮

検体の採取にあたっては、各施設の担当者が検体提供者をコード化し、研究者レベルでは特定の個人が同定できないよう配慮した。検査希望者がアンケートにも回答した場合には、検体番号と同じ番号をアンケート用紙に記入して、リンクさせた。本研究は、日本性感染症学会の倫理委員会の承認を受けて実施した。

## 3. 結果

3年間で、1720名が研究で提供した無料の HIV 検査を受検し、アンケート調査が行われた7医療機関で1423名がアンケート調査に参加した。

### (1) 無料 HIV 検査結果

平成 21、22、23 年度の無料 HIV 検査受検の内訳は、男性外来患者（以下、男性患者）各年度 122、263、231 例（合計 616 例）、女性患者（以下、女性患者）は、125、124、96 例（合計 345 例）、検診目的の CSW は、174、150、435 例（合計 759 例）で、HIV 抗体陽性者は、男性のみに認められ、各年度、2（1.9%）、4（1.5%）、2 名（0.87%）であった。そして、アンケートと照合した結果、22 年度、23 年度では、それぞれ半数が、HIV 検査を目的とせずに来院した患者であっ

た。23 年度の陽性者は、アンケートには、HIV 感染リスクは低いと回答していた。女性患者と CSW には、この3年間には、HIV 抗体陽性者は認められなかった。

## (2) アンケート調査結果

### <平成 21 年度>

性行動に関するアンケート調査に協力が得られた症例は男性 50 例と CSW を除く女性 143 例であった。今回の症例のなかで、以前に医療機関で STD と診断されたことがあると答えたのは、男性で 32.0%、女性で 49.7%と女性の方が多かった。また、過去に HIV 検査を受けたことがあると答えたのは男性で 46.0%、女性で 62.2%とやはり女性の方が多かった。自分が HIV に感染する可能性はどの程度と考えているかとの質問にも、まったくない、あるいは低いと思っているのは女性 60.1%、男性 78.0%で男性の方が高かった。一方 HIV に感染する可能性が中くらいと思う、または高いと思うと考えている症例は女性で 39.9%、男性で 20.2%と女性で高かった。過去3ヵ月間のセックスの時、コンドームを使用したかどうかの質問には、一度も使用しなかったのは女性 14.7%、男性 16.0%、毎回使用したと答えたのは女性 20.3%、男性 20.0%であった。また、今回の調査で希望する検査項目に関する質問では、女性ではほぼ 95%以上が HIV を含む全ての項目の検査を希望したのに対し、男性では、HIV が 84.0%、HBs 抗原検査希望者は 52.0%と低かった。

### <平成 22 年度>

アンケート調査は、7 医療機関で実施され、ほとんど記入のなかった 17 名を除外した 526 名について分析を行った。

表 22-1 は、対象群別に、基本的質問項目に対する回答を比較したものである。年齢構成は、男性外来患者が全年齢に比較的分散していたのに対し、女性外来患者は約 8 割が 30 歳未満で、女性セックスワーカーも男性外来患者よりは、若年層

に分布していた。平均年齢は、男性外来患者 37.2±12.1 歳(SD) (範囲 18-74 歳、中央値 35.0 歳)、女性外来患者 27.0±5.8 歳(SD) (範囲 19-50 歳、中央値 26.0 歳)、女性セックスワーカー 30.8±7.4 歳(SD) (範囲 20-46 歳、中央値 30.0 歳)であった。

性感染症罹患経験は、男性外来患者と女性外来患者では 50%前後であったが、女性セックスワーカーでは 83.6%に及んだ (P<0.01)。HIV 検査を希望して来院した参加者は、男性外来患者 27.1%、女性外来患者 16.9%程度であったが、女性セックスワーカーでは 75.4%であった

(P<0.01)。無料 HIV 検査希望者は、男性外来患者と女性セックスワーカーで約 99%で、女性外来患者でも 82.3%に及んだ (P<0.01)。HIV 検査を受けたい場所は、どの群でも、「この診療所のような場所」が最も多く、男性外来患者 49.8%、女性外来患者 64%、女性セックスワーカー 71.6%であり (P<0.01)、次いで多かったのは、「どこでもよい」で、それぞれ 45.0%、32.3%、32.8%で (P=0.01)、「この診療所のような場所」あるいは「どこでもよい」と回答した人は、それぞれ 205 人 (88.7%)、145 人 (90.1%)、125 人 (93.3%) で、診療所で HIV 検査受検できる受診者はどの群でもほぼ 90%に上がることが示された。これに対し、保健所の平日検査も夜間休日検査も希望者は、男性外来患者の夜間休日検査希望

(14.7%) をのぞけば、3-7%程度と低値であった。検査の費用については、無料希望が男性外来患者 42.5%、女性外来患者 53.4%、女性セックスワーカー 47.0%で、約半数が無料検査を希望しており、また HIV 検査への保険適用を希望した参加者も各群ほぼ半数程度であった。希望する検査の種類としては、男性外来患者と女性外来患者の約半数が即日検査を希望したが、女性セックスワーカーでは、38.6%とやや少なかった (P=0.04)。

表 22-2 は、性感染症の罹患経験の年齢分布を示したもので、年齢に関わらず、男性と女性の外来患者では 50%前後が、女性セックスワーカーでは、80-90%に罹患経験があった。

表 22-3 は、罹患経験者における性感染症の種類を示したもので、梅毒以外、群間の差は統計学的に有意で (P<0.01)、性器クラミジアは女性外来患者と女性セックスワーカーで 80%前後と多く、淋菌感染症と性器ヘルペスは、女性セックスワーカーに最も多く (50%、26.5%)、尖圭コンジローマと梅毒は男性外来患者に最も多かった (32.1%、5.7%)。

表 22-4 は、来院時に HIV 検査を予定していた参加者の割合の年齢分布を示したもので、男性外来患者、女性外来患者では年齢群間に差がなかったが、女性セックスワーカーでは、年齢層が低いほど検査予定者の割合が低いという結果になった (P<0.01)。

表 22-5 は、来院時 HIV 検査を希望していなかった人の中で、その場で提供された無料 HIV 検査を希望した人の割合を示したものである。男性外来患者と女性セックスワーカーのほぼ全員が希望し、女性外来患者でも 80%が希望した。なお、表には示していないが、無料検査を希望しなかった 12 名の理由としては、「自分には関係のない病気だから」が 3 名、「感染がわかると困るから」が 1 名、「エイズを思わせる症状が自分にはないから」が 3 名であった。

表 22-6 は、HIV 検査を受けたい場所・機会に関する回答の年齢分布を示したものであるが、女性セックスワーカーで、年齢が高いほど、来院した診療所での検査を望む傾向があったが (P=0.03)、それ以外では有意な年齢差は認められなかった。

表 22-7 は、来院した診療所での検査を望むと回答した人について、その理由を分析したものである。「慣れた場所だけ

ら」という回答は、女性外来患者と女性セックスワーカーに多く(61.2%、72.9%) ( $P<0.01$ )、「性病検査のついでに受けられる」、「先生が信頼できるから」という回答は、女性セックスワーカーに多く(共に64.6%) ( $P<0.01$ )、「先生から説明を受けられるから」は40%前後で、群間に有意差は認められなかった。

表 22-8 は、HIV 検査費用についての希望の年齢分布を示したものである。女性セックスワーカーで、若年層ほど無料希望が高く(30歳未満で59.4%、50歳以上で23.8%、 $P=0.01$ )、逆に保険適用は低かった(30歳未満で59.4%、50歳以上で76.2%、 $P=0.02$ )。表には示していないが、HIV 検査費用について自己負担可能と回答した人の中で金額を回答した人(男性外来患者30名、女性外来患者1名、女性セックスワーカー15名)負担可能額の中央値は男性外来患者3500円(範囲500円—1万円)、女性外来患者2500円、女性セックスワーカー3000円(範囲500円—1万円)であった。

表 22-9 は、希望する検査の種類に関する年齢分布を示したものである。男性外来患者、女性外来患者では、年齢による違いは認められなかったが、女性セックスワーカーでは、若年層ほど即日検査希望が多く(30歳未満で53.2%、50歳以上で22.7%、 $P<0.01$ )、したがって、普通の検査は、若年層ほど希望が少ないという結果になった(30歳未満で12.9%、50歳以上で40.9%、 $P=0.01$ )。

#### <平成 23 年度>

アンケート調査には、7 医療機関で 688 名が参加した。

表 23-1 は、対象群別に、基本的質問項目に対する回答を比較したものである。年齢構成は、男性患者が全年齢に比較的分散していたのに対し、女性患者は約 7 割が 30 歳未満と最も若く、CSW も男性患者よりは、若年層に分布していた。

性感染症罹患経験は、男性患者 48.9%、女性患者 58.3%であったが、CSW では 85.2%に及んだ ( $P<0.01$ )。HIV 検査を希望して来院した参加者は、男性患者 33.5%、女性患者 28.0%であったが、CSW では 67.9%であった ( $P<0.01$ )。無料 HIV 検査希望者は、男性患者 95.5%、女性患者 97.9%、CSW 97.8%と、どの群でも極めて高かった。これまでに HIV 検査受検経験がある者は、男性患者 45.5%、女性患者 36.8%、CSW 83.3%で、女性患者で最も低かった。受検経験者のうち、過去の検査回数は、男性患者、女性患者ではほぼ等しく、約 5 割が 1 回、2 割が 2 回、3 割が 3 回以上であったが、CSW では、8 割以上が 3 回以上であった。HIV 感染へのリスク認知が低い者(「全くない」もしくは「低いと思う」と回答した者)の割合は、男性患者で 68.8%、女性患者で 58.6%、CSW で 40.9%であり、どの群でもかなりの割合に上ったが、特に男性患者で低いことが示唆された。また、CSW では、2 割以上で、リスクが高いと認識されていることが示された。

表 23-2 は、性感染症の罹患経験の年齢分布を示したもので、男性患者では、30 歳代、40 歳代に高い傾向があったが、女性患者では、年齢が若いほど高く、CSW では、全年齢で 80%以上であった。

表 23-3 は、罹患経験者における性感染症の種類を示したもので、男性では、最も多い性器クラミジアが 35%、最も低い梅毒で 12%で、特に突出したものはないが、女性患者、CSW では、約 8 割が性器クラミジアの罹患経験があった。CSW では、淋病も 43.1%と高値であった。

表 23-4 は、来院時に HIV 検査を予定していた参加者の割合の年齢分布を示したもので、男性患者ではどの年齢層でも 3 割前後が HIV 検査を予定して来院していたが、女性患者では例数が少なく、特定の傾向は見出し難い。CSW では、前年度

同様、年齢層が低いほど検査予定者の割合が低い傾向があった。

表 23-5 は、来院時 HIV 検査を希望していなかった人の中で、その場で提供された無料 HIV 検査を希望した人の割合を示したものである。どの群でも、94%以上が希望し、無料検査へのニーズが極めて高いことが示された。

表 23-6 は、HIV 関連知識についての質問に対する回答の分布を示したものである。質問 1「最近、わが国のエイズウイルス感染者数は増加している」、質問 2「最近わが国のエイズウイルスの感染経路は性行為によるものが最も多い」、質問 4「エイズウイルスに感染している妊婦から赤ちゃんにエイズウイルスが感染する可能性がある」、質問 6「健康に見えてもエイズウイルスに感染している可能性がある」については、多くのグループで 80%を超える高い正解率を示したが、質問 3「治療薬の進歩で、エイズウイルスに感染してから発病するまでの期間を遅らせることができるようになった」は、女性患者で 53%と低く、質問 5「性感染症(性病)にかかっていると、エイズウイルスに感染しやすい」は、女性患者と CSW で正解率が 55%前後と低く、質問 7「保健所では名前を言わずに無料でエイズ検査ができる」は、全群で、60%台と低く、また質問 8「エイズ検査で感染がわかった場合、名前や住所が国に報告される」は、全群で、20-30%台と特に低率であった。

リスク認知をアウトカム変数として、HIV 関連知識の各項目を変数としたカイ二乗分析、HIV 検査目的の来院をアウトカムとし、リスク認知、HIV 関連知識の各項目を変数としたカイ二乗分析を実施したが、どの群においても、統計学的に有意となる結果は得られなかった。

## 考察

### (1) 来院者の HIV 抗体陽性率について

厚生労働科学研究費補助金のエイズ対策研究事業における STD クリニック来院者の HIV 抗体陽性率のモニタリングは、平成 15 年度から開始されているが、平成 15-17 年度の 3 年間における HIV 抗体陽性率は、男性外来患者 0.34% (587 例中 2 例) [2]、女性外来患者および女性セックスワーカーでは 0.07% (2672 例中 2 例) と低率であった。しかし、平成 18-20 年度には、女性外来患者および女性セックスワーカーでは陽性者を認めなかったが、男性外来患者では 1.6% (623 例中 10 例) と上昇した [3]。その後、21 年度は 1.5% (4/263)、22 年度は 1.6% (2/122)、そして、今年度は、0.87%と、低下しつつあるようにも見えるが、分子が小さいため、安定した傾向とは言えない。ただ、低下したとは言え、この陽性率は、保健所等で行われている公的な HIV 検査における HIV 抗体陽性率 (保健所 0.3%) [4] を大きく上回るものであり、STD クリニックが、HIV 流行の重要なセンチネルサイトであり、かつ潜在する HIV 感染者を掘り起こし、治療と予防につなげる上で重要な場所であるというこれまでの結論が改めて確認された。23 年度の陽性者のうち、1 名は HIV 検査目的の来院ではなく、HIV 感染リスクが低いと回答していたことは、この意味で特に重要な事実であると考えられた。

### (2) アンケート調査の結果について

平成 21 年度は、性行動の質問を取り入れたが、コンドームをあまり使用しない人の割合は、男性患者で 34%、女性患者で 44%とかなりの割合に上り、憂慮される結果であったが、それ以上に、重要であるのは、それにも関わらず HIV 感染へのリスク認知が低いことで、男性の 78%、女性の 60%が自分のリスクが低いと考えていた。リスク認知を高める普及啓発の必要性が示唆された。

平成 22 年度には、STD クリニック来院者の HIV 検査ニーズを調べるためのア

ンケート調査を実施した。筆者らの知る限り、これは我が国で初めての調査である。その主な結果は、以下のように要約される。

・男性外来患者、女性外来患者では、HIV検査を目的に来院する人は低く、15－30%の範囲であるが、来院目的がHIV検査ではない人に無料検査を薦めると、ほとんどが受検した。

・HIV検査を受けたい場所について、「この診療所のような場所」あるいは「どこでもよい」と回答した人は、どの群でもほぼ90%かそれ以上であったが、保健所の平日検査や夜間休日検査は、概ね10%未満で、希望者は少なかった。

・HIV検査費用については、無料希望がどの群でも約半数あったが、保険適用を希望するものも約半数存在した。

以上の結果から、STDクリニック来院者の間には、安価に（無料もしくは保険適用で）受けられるHIV検査に関するニーズが非常に高いことが明らかとなり、かつSTDクリニックは来院者にとって、保健所の平日検査や夜間休日検査よりHIV検査を受け易い場所と認識されていることが判明した。

平成23年度はSTDクリニック来院者のHIV検査ニーズとHIV関連知識の普及状況を調べるためのアンケート調査を実施した。昨年の調査で初めて、STDクリニック受診者の無料HIV検査ニーズを調べ、それが極めて高いことを示したが、23年度も希望率は、94%以上と極めて高く、昨年の知見が確認された。

わが国のHIV検査体制は、保健所に大きく依存しているが、保健所等における公的HIV検査は、2008年をピークに低下したままで、かつAIDS患者報告数は、多剤併用療法が利用できる先進国としては異例に、多剤併用療法開発後も減少していない。これは、現行のHIV検査体制が不十分で早期発見・治療に結びついていないことを示しており、こうした現状

が続けば、HIV流行の潜在的な拡大が続き、また、感染者にとっても、AIDSを発症してから発見されるという予後の観点から望ましくない事態が続くことになる。22年度の調査で、保健所の平日検査や夜間休日検査を希望する者STDクリニック受診者は、概ね10%未満と少ないことが判明しており、保健所検査では、高リスク層を効率的に把握できない可能性が高い。保健所依存体制を脱却し、STDクリニックを、高リスク層に効率的にアクセスできる新たなHIV検査機会として、行政的な位置づけを行うことが期待される。40%前後の成人がHIV検査を受け、年間HIV検査数が1600万件から2200万件に及ぶと推定されている米国では、HIV検査は、44%が民間医療機関、22%が病院等で行われており、公的なクリニックでの検査は9%に過ぎない<sup>[5]</sup>。我が国も、保健所等を中心とする検査体制の見直しが急務である。

また、23年度は、HIV関連知識に関する質問を導入したが、STD患者にとって最も重要な情報である「性感染症(性病)にかかっていると、エイズウイルスに感染しやすい」という知識が、半数にしか普及していないこと、保健所における無料匿名検査の存在が、70%未満の患者にしか知られていないことが判明し、STDクリニックを拠点とした普及啓発の意義を示唆するものとなった。

## 引用文献

1. エイズ発生動向委員会. 平成22年エイズ発生動向年報
2. 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV感染症の動向と予防モデルの開発・普及に関する社会疫学的研究」平成15年度～17年度総合報告書
3. 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV感染の動向と影響及

- び政策のモニタリングに関する研究」  
平成 18-20 年度総合研究報告書
4. 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業 HIV 検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究平成 21 年度報告書
  5. 米国疾病管理予防センターWeb サイト  
([http://www.cdc.gov/hiv/topics/testing/ resources/ slidesets/pdf/testing\\_healthcare.pdf](http://www.cdc.gov/hiv/topics/testing/resources/slidesets/pdf/testing_healthcare.pdf)  
) 平成 24 年 5 月 8 日アクセス

表22-1. アンケート調査参加者の属性等

質問項目	男性外来患者 (n=231)		女性外来患者 (n=161)		セックスワーカー (n=134)		合計 (n=526)		P値	
	n	%	n	%	n	%	n	%		
年齢	<30歳	72	31.4	124	77.5	64	48.1	260	49.8	0.00
	30-39歳	80	34.9	28	17.5	47	35.3	155	29.7	
	40-49歳	42	18.3	7	4.4	22	16.5	71	13.6	
	50歳以上	35	15.3	1	0.6	0	0.0	36	6.9	
	合計	229	100.0	160	100.0	133	100.0	522	100.0	
性病罹患経験	あり	116	51.3	76	47.8	112	83.6	304	58.6	0.00
	なし	82	36.3	68	42.8	17	12.7	167	32.2	
	わからない	28	12.4	15	9.4	5	3.7	48	9.2	
	合計	226	100.0	159	100.0	134	100.0	519	100.0	
本日のHIV検査予定	あり	62	27.1	27	16.9	101	75.4	190	36.3	
	なし	167	72.9	133	83.1	33	24.6	333	63.7	
	合計	229	100.0	160	100.0	134	100.0	523	100.0	
本日の無料検査受検希望	あり	227	99.1	130	82.3	132	98.5	489	93.7	0.00
	なし	2	0.9	28	17.7	2	1.5	32	6.1	
	合計	229	100.0	158	100.0	134	100.0	522	100.0	
HIV検査を受けたい場所・機会(複数回答)	どこでもよい	104	45.0	52	32.3	44	32.8	200	38.0	0.01
	保健所等の夜間・休日検査	34	14.7	11	6.8	5	3.7	50	9.5	0.00
	保健所の平日検査	15	6.5	12	7.5	5	3.7	32	6.1	0.38
	大きな病院	13	5.6	17	10.6	4	3.0	34	6.5	0.02
	郵送検査	16	6.9	12	7.5	4	3.0	32	6.1	0.21
	この診療所	115	49.8	103	64.0	96	71.6	314	59.7	0.00
検査費用に関する希望(複数回答)	無料がよい	99	42.9	86	53.4	63	47.0	248	47.1	0.13
	保険適用が効けばよい	96	41.6	81	50.3	72	53.7	249	47.3	0.06
	自己負担可能	36	15.6	12	7.5	21	15.7	69	13.1	0.04
	値段は問題ではない	41	17.7	15	9.3	22	16.4	78	14.8	0.06
希望する検査の種類	即日検査	121	53.1	82	50.9	51	38.6	254	48.8	0.04
	普通の検査(即日検査以外)	52	22.8	30	18.6	32	24.2	114	21.9	
	どちらでもよい	55	24.1	49	30.4	49	37.1	153	29.4	
	合計	228	100.0	161	100.0	132	100.0	521	100.0	

注1) 複数回答質問の%は、男性外来患者はn=231、女性外来患者はn=161、セックスワーカーはn=134を基に計算

注2) 複数回答質問以外の%は列合計に対して計算

注3) 複数回答質問のカイニ乗検定のP値は、個別質問項目に対する選択の有無の対象群間分布に対するもの

注4) 複数回答以外のカイニ乗検定のP値は、質問に対する回答の対象群間分布に対するもの



表22-2. 性感染症罹患経験の年齢分布

年齢区分	男性外来患者(n=224)						女性外来患者(n=158)						セックスワーカー(n=133)								
	あり		なし		わからない	P値	あり		なし		わからない	P値	あり		なし		わからない	P値			
	n	%	n	%			n	%	n	%			n	%	n	%			n	%	
<30歳	31	43.1	27	37.5	14	19.4	0.43	64	52.0	48	39.0	11	8.9	0.43	53	82.8	7	10.9	4	6.25	0.21
30-39歳	44	56.4	26	33.3	8	10.3		11	40.7	13	48.1	3	11.1		38	80.9	9	19.1	0	0	
40-49歳	21	53.8	15	38.5	3	7.7		1	14.3	5	71.4	1	14.3		20	90.9	1	4.55	1	4.55	
50歳以上	19	54.3	13	37.1	3	8.6		0	0.0	1	100	0	0.0		0	—	0	—	0	—	
合計	115	51.3	81	36.2	28	12.5		76	48.1	67	42.4	15	9.5		111	83.5	17	12.8	5	3.76	

注1) %は行合計に対するもの

注2) カイ二乗検定のP値は、年齢区分間の差に対するもの

表22-3. これまでに罹患したことのある性感染症（複数回答）

性感染症名	男性外来患者(n=106)		女性外来患者(n=70)		セックスワーカー(n=102)		P値						
	あり		なし		あり			なし					
	n	%	n	%	n	%		n	%				
性器クラミジア	50	47.2	56	52.8	59	84.3	11	15.7	78	76.5	24	23.5	0.00
淋菌感染症	30	28.3	76	71.7	6	8.6	64	91.4	51	50.0	51	50.0	0.00
性器ヘルペス	11	10.4	95	89.6	4	5.7	66	94.3	27	26.5	75	73.5	0.00
尖圭コンジローマ	34	32.1	72	67.9	11	15.7	59	84.3	7	6.9	95	93.1	0.00
梅毒	6	5.7	100	94.3	0	0.0	70	100	2	2.0	100	98.0	0.07

注1) 分析対象は、問3(これまでに性感染症にかかったことがありますか)に対して、「はい」と回答した者で性感染症名を記載し

注2) %の計算は、男性外来患者はn=106、女性外来患者はn=70、セックスワーカーはn=102を分母として計算

注3) カイ二乗検定のP値は、各疾患に対する罹患の有無の対象群間分布差に対するもの

表22-4. 来院日におけるHIV検査予定の有無の年齢分布

年齢区分	男性外来患者(n=227)					女性外来患者(n=159)					セックスワーカー(n=133)				
	あり		なし		P値	あり		なし		P値	あり		なし		P値
	n	%	n	%		n	%	n	%		n	%	n	%	
<30歳	24	33.3	48	66.7	0.19	20	16.3	103	83.7	0.29	39	60.9	25	39.1	0.00
30-39歳	23	29.5	55	70.5		4	14.3	24	85.7		41	87.2	6	12.8	
40-49歳	10	23.8	32	76.2		3	42.9	4	57.1		20	90.9	2	9.1	
50歳以上	5	14.3	30	85.7		0	0.0	1	100		0	0.0	0	0.0	
合計	62	27.3	165	72.7		27	17.0	132	83.0		100	75.2	33	24.8	

注1)%は行合計に対するもの

注2)カイニ乗検定のP値は、回答の年齢群間分布差に関するもの

表22-5. 来院目的がHIV検査ではなかった受診者における無料検査希望者の割合

質問項目	男性外来患者 (n=231)		女性外来患者 (n=161)		セックスワーカー (n=134)		合計 (n=526)		P値	
	n	%	n	%	n	%	n	%		
	本日の無料 検査受検希 望	あり	165	98.8	106	79.7	31	93.9		302
	なし	2	1.2	27	20.3	2	6.1	31	9.3	
	合計	167	100.0	133	100.0	33	100.0	333	100.0	

注1)%は行合計に対して計算

注4)カイニ乗検定のP値は、質問に対する回答の対象群間分布に対するもの

表22-6. HIV検査を受けたい場所・機会に関する回答の年齢分布（複数回答）

検査を受けたい場所・機会	年齢区分	男性外来患者(n=227)			女性外来患者(n=159)			セックスワーカー(n=133)				
		はい n	いいえ %	P値	はい n	いいえ %	P値	はい n	いいえ %	P値		
どこでもよい	<30歳	31	43.1	0.21	43	35.0	0.17	27	42.2	0.07		
	30-39歳	44	55.0		36	45.0		6	21.4		22	78.6
	40-49歳	16	39.0		25	61.0		1	14.3		6	85.7
	50歳以上	13	38.2		21	61.8		1	100		0	0.0
	合計	104	45.8		123	54.2		51	32.1		108	67.9
保健所等の 夜間・休日検査	<30歳	11	15.3	0.56	10	8.1	0.71	5	7.8	0.06		
	30-39歳	15	18.8		65	81.3		1	3.6		27	96.4
	40-49歳	4	9.8		37	90.2		0	0.0		7	100
	50歳以上	4	11.8		30	88.2		0	0.0		1	100
	合計	34	15.0		193	85.0		11	6.9		148	93.1
保健所の 平日検査	<30歳	4	5.6	0.33	8	6.5	0.77	3	4.7	0.59		
	30-39歳	6	7.5		74	92.5		3	10.7		25	89.3
	40-49歳	4	9.8		37	90.2		1	14.3		6	85.7
	50歳以上	0	0.0		34	100		0	0.0		1	100
	合計	14	6.2		213	93.8		12	7.5		147	92.5
大きな病院	<30歳	5	6.9	0.85	11	8.9	0.36	2	3.1	0.86		
	30-39歳	5	6.3		75	93.8		4	14.3		24	85.7
	40-49歳	2	4.9		39	95.1		2	28.6		5	71.4
	50歳以上	1	2.9		33	97.1		0	0.0		1	100
	合計	13	5.7		214	94.3		17	10.7		142	89.3
郵送検査	<30歳	4	5.6	0.19	7	5.7	0.00	4	6.3	0.11		
	30-39歳	5	6.3		75	93.8		2	7.1		26	92.9
	40-49歳	6	14.6		35	85.4		2	28.6		5	71.4
	50歳以上	1	2.9		33	97.1		1	100		0	0.0
	合計	16	7.0		211	93.0		12	7.5		147	92.5
この診療所	<30歳	37	51.4	0.13	75	61.0	0.29	39	60.9	0.03		
	30-39歳	32	40.0		48	60.0		22	78.6		6	21.4
	40-49歳	23	56.1		18	43.9		5	71.4		2	28.6
	50歳以上	21	61.8		13	38.2		1	100		0	0.0
	合計	113	49.8		114	50.2		103	64.8		56	35.2

注1) %は行合計に対するもの

注2) カイ二乗検定のP値は、年齢群間の回答分布差に関するもの

表22-7. この診療所でHIV検査を受けたい理由（複数回答）

この診療所で検査を受けたい理由	男性外来患者(n=113)		女性外来患者(n=103)		セックスワーカー(n=96)		P値
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	
	n %	n %	n %	n %	n %	n %	
慣れた場所だから	34 30.1	79 69.9	63 61.2	40 38.8	70 72.9	26 27.1	0.00
性病の検査のついでに受けられるか	46 40.7	67 59.3	29 28.2	74 71.8	62 64.6	34 35.4	0.00
先生が信頼できるから	52 46.0	61 54.0	41 39.8	62 60.2	62 64.6	34 35.4	0.00
先生から説明を受けることができるか	55 48.7	58 51.3	39 37.9	64 62.1	41 42.7	55 57.3	0.28
その他	6 5.3	107 94.7	3 2.9	100 97.1	7 7.3	89 92.7	0.37

注1) 分析対象は、問6(エイズ検査を受けたい場所)に対して、「この診療所のような場所で受けたい」と回答した者で理由を回答

注2) %の計算は、行合計に対して算出

注3) カイ二乗検定のP値は、各項目に対する回答の対象群間分布に対するもの

表22-8. HIV検査費用の希望（複数回答）

検査費用の希望	年齢区分	男性外来患者(n=226)			女性外来患者(n=159)			セックスワーカー(n=132)		
		はい	いいえ	P値	はい	いいえ	P値	はい	いいえ	P値
		n %	n %		n %	n %		n %	n %	
無料がよい	<30歳	30 42.9	40 57.1	0.39	63 51.2	60 48.8	0.48	38 59.4	26 40.6	0.01
	30-39歳	31 38.8	49 61.3		18 64.3	10 35.7		19 40.4	28 59.6	
	40-49歳	23 54.8	19 45.2		4 57.1	3 42.9		5 23.8	16 76.2	
	50歳以上	14 41.2	20 58.8		1 100	0 0.0		0 -	0 -	
	合計	98 43.4	128 56.6		86 54.1	73 45.9		62 47.0	70 53.0	
保険適用を希望	<30歳	27 38.6	43 61.4	0.53	68 55.3	55 44.7	0.11	28 43.8	36 56.3	0.02
	30-39歳	33 41.3	47 58.8		9 32.1	19 67.9		28 59.6	19 40.4	
	40-49歳	22 52.4	20 47.6		3 42.9	4 57.1		16 76.2	5 23.8	
	50歳以上	14 41.2	20 58.8		0 0.0	1 100		0 -	0 -	
	合計	96 42.5	130 57.5		80 50.3	79 49.7		72 54.5	60 45.5	
自己負担可能	<30歳	11 15.7	59 84.3	0.74	10 8.1	113 91.9	0.75	10 15.6	54 84.4	0.51
	30-39歳	10 12.5	70 87.5		1 3.6	27 96.4		6 12.8	41 87.2	
	40-49歳	7 16.7	35 83.3		1 14.3	6 85.7		5 23.8	16 76.2	
	50歳以上	7 20.6	27 79.4		0 0.0	1 100		0 -	0 -	
	合計	35 15.5	191 84.5		12 7.5	147 92.5		21 15.9	111 84.1	
値段は問題ではない	<30歳	14 20.0	56 80.0	0.36	12 9.8	111 90.2	0.92	9 14.1	55 85.9	0.08
	30-39歳	18 22.5	62 77.5		2 7.1	26 92.9		12 25.5	35 74.5	
	40-49歳	5 11.9	37 88.1		1 14.3	6 85.7		1 4.8	20 95.2	
	50歳以上	4 11.8	30 88.2		0 0.0	1 100		0 -	0 -	
	合計	41 18.1	185 81.9		15 9.4	144 90.6		22 16.7	110 83.3	

注1) %は行合計に対するもの

注2) カイ二乗検定のP値は、年齢群間の回答の分布差に関するもの

表22-9. 希望するHIV検査の種類

検査の種類	年齢区分	男性外来患者(n=226)			女性外来患者(n=159)			セックスワーカー(n=132)		
		はい	いいえ	P値	はい	いいえ	P値	はい	いいえ	P値
		n %	n %		n %	n %		n %	n %	
即日検査	<30歳	36 51.4	34 48.6	0.91	60 48.4	64 51.6	0.61	33 53.2	29 46.8	0.00
	30-39歳	45 56.3	35 43.8		16 57.1	12 42.9		12 25.5	35 74.5	
	40-49歳	22 52.4	20 47.6		4 57.1	3 42.9		5 22.7	17 77.3	
	50歳以上	17 50.0	17 50.0		1 100	0 0.0		0 -	0 -	
	合計	120 53.1	106 46.9		81 50.6	79 49.4		50 38.2	81 61.8	
普通の検査	<30歳	19 27.1	51 72.9	0.56	25 20.2	99 79.8	0.57	8 12.9	54 87.1	0.01
	30-39歳	14 17.5	66 82.5		3 10.7	25 89.3		15 31.9	32 68.1	
	40-49歳	10 23.8	32 76.2		2 28.6	5 71.4		9 40.9	13 59.1	
	50歳以上	8 23.5	26 76.5		0 0.0	1 100		0 -	0 -	
	合計	51 22.6	175 77.4		30 18.8	130 81.3		32 24.4	99 75.6	
どちらでもよい	<30歳	15 21.4	55 78.6	0.90	39 31.5	85 68.5	0.71	21 33.9	41 66.1	0.65
	30-39歳	21 26.3	59 73.8		9 32.1	19 67.9		20 42.6	27 57.4	
	40-49歳	10 23.8	32 76.2		1 14.3	6 85.7		8 36.4	14 63.6	
	50歳以上	9 26.5	25 73.5		0 0.0	1 100		0 -	0 -	
	合計	55 24.3	171 75.7		49 30.6	111 69.4		49 37.4	82 62.6	

注1) %は行合計に対するもの

注2) カイ二乗検定のP値は、年齢群間の回答の分布差に関するもの

表23-1. アンケート調査参加者の属性等

項目	男性外来患者 (n=225)		女性外来患者 (n=96)		セックスワーカー (n=365)		合計 (n=688)		P値	
	n	%	n	%	n	%	n	%		
年齢	<30歳	62	27.6	66	68.8	150	40.9	278	40.4	0.00
	30-39歳	67	29.8	20	20.8	139	37.9	226	32.8	
	40-49歳	59	26.2	7	7.3	62	16.9	128	18.6	
	50歳以上	37	16.4	3	3.1	16	4.4	56	8.1	
	合計	225	100.0	96	100.0	367	100.0	688	100	
性感染症罹患経験	あり	108	48.9	56	58.3	311	85.2	475	69.6	0.00
	なし	88	39.8	36	37.5	45	12.3	169	24.8	
	わからない	25	11.3	4	4.2	9	2.5	38	5.6	
	合計	221	100.0	96	100.0	365	100.0	682	100	
本日のHIV検査予定	はい	75	33.5	26	28.0	247	67.9	348	51.1	0.00
	いいえ	149	66.5	67	72.0	117	32.1	333	48.9	
	合計	224	100.0	93	100.0	364	100.0	681	100	
本日の無料検査受検希望	はい	213	95.5	92	97.9	357	97.8	662	97.1	0.25
	いいえ	10	4.5	2	2.1	8	2.2	20	2.9	
	合計	223	100.0	94	100.0	365	100.0	682	100	
これまでのHIV検査経験	あり	102	45.5	35	36.8	305	83.3	442	64.5	0.00
	なし	122	54.5	60	63.2	61	16.7	243	35.5	
	合計	224	100.0	95	100.0	366	100.0	685	100	
過去のHIV検査受検回数	1回	52	51.5	18	51.4	41	13.6	111	25.3	0.00
	2回	22	21.8	6	17.1	14	4.6	42	9.6	
	3回以上	27	26.7	11	31.4	247	81.8	285	65.1	
	合計	101	100.0	35	100.0	302	100.0	438	100	
リスク認知	まったくない	17	7.7	4	4.3	22	6.0	43	6.3	0.00
	低いと思う	135	61.1	51	54.3	127	34.9	313	46.1	
	中くらいと思う	52	23.5	31	33.0	134	36.8	217	32	
	高いと思う	17	7.7	8	8.5	81	22.3	106	15.6	
	合計	221	100.0	94	100.0	364	100.0	679	100	

表23-2. 性感染症罹病経験の年齢分布

年齢区分	男性外来患者 (n=225)					女性外来患者 (n=96)					セックスワーカー (n=367)										
	あり		なし		わからない	P値	あり		なし		わからない	P値	あり		なし		わからない	P値			
	n	%	n	%			n	%	n	%			n	%	n	%			n	%	
<30歳	23	38.3	25	41.7	12	20	0.25	40	60.6	23	34.8	3	4.5	0.63	129	86.0	13	8.7	8	5.3	0.02
30-39歳	36	53.7	26	38.8	5	7.5		11	55	9	45	0		115	82.7	23	16.5	1	0.7		
40-49歳	32	54.2	22	37.3	5	8.5		4	57.1	2	28.6	1	14.3		53	85.5	9	14.5	0		
50歳以上	17	48.6	15	42.9	3	8.6		1	33.3	2	66.7	0			14	100	0		0		
合計	108	48.9	88	39.8	25	11.3		56	58.3	36	37.5	4	4.2		311	85.2	45	12.3	9	2.5	

表23-3. これまでに罹患したことのある性感染症 (複数回答)

性感染症名	男性外来患者 (n=108)				女性外来患者 (n=56)				セックスワーカー (n=311)				P値
	あり		なし		あり		なし		あり		なし		
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
クラミジア	38	35.2	70	64.8	45	80.4	11	19.6	234	75.2	77	24.8	0.00
淋病	26	24.1	82	75.9	9	16.1	47	83.9	134	43.1	177	56.9	0.00
梅毒	13	12	95	88	1	1.8	55	98.2	10	3.2	301	96.8	0.00
性器ヘルペス	17	15.7	91	84.3	4	7.1	52	92.9	64	20.6	247	79.4	0.04
コンジローマ	21	19.4	87	80.6	3	5.4	53	94.6	51	16.4	260	83.6	0.06
カンジダ	0		108	100	2	3.6	54	96.4	9	2.9	302	97.1	0.18
ケジラミ	0		108	100	0		56	100	1	0.3	310	99.7	0.77
唇ヘルペス	1	0.9	107	99.1	0		56	100	0		311	100	0.18
尿道炎	6	5.6	102	94.4	0		56	100	0		311	100	0.00
トリコモナス	1	0.9	107	99.1	0		56	100	8	2.6	303	97.4	0.30
のど淋	0		108	100	0		56	100	2	0.6	309	99.4	0.59

表23-4. 来院日におけるHIV検査予定の有無の年齢分布

	男性外来患者 (n=224)			女性外来患者 (n=93)			セックスワーカー (n=364)								
	はい		P値	はい		P値	はい		P値						
	n	%		n	%		n	%							
<30歳	24	38.7	38	61.3	0.75	13	20.3	51	79.7	0.02	92	61.7	57	38.3	0.19
30-39歳	20	29.9	47	70.1		11	55	9	45		99	71.7	39	28.3	
40-49歳	19	32.2	40	67.8		1	16.7	5	83.3		44	71	18	29	
50歳以上	12	33.3	24	66.7		1	33.3	2	66.7		12	80	3	20	
Total	75	33.5	149	66.5		26	28	67	72		247	67.9	117	32.1	

表23-5 来院目的がHIV検査でなかった受診者における無料検査希望者の割合

		男性外来患者		女性外来患者		セックスワーカー		合計		P値
		n	%	n	%	n	%	n	%	
本日の無料	はい	141	94.6	66	98.5	110	94	317	95.2	0.36
検査受検希	いいえ	8	5.4	1	1.5	7	6	16	4.8	
望	合計	149	100	67	100	117	100	333	100	

表23-6. HIV関連知識質問に対する回答結果

	男性外来患者						女性外来患者						セックスワーカー						合計						P値
	正しい		正しくない		わからない		正しい		正しくない		わからない		正しい		正しくない		わからない		正しい		正しくない		わからない		
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
1.最近、わが国のHIV感染者数は増加している(O)	200	89.3	3	1.3	21	9.4	81	84.4	1	1	14	14.6	320	87.7	2	0.5	43	11.8	601	87.7	6	0.9	78	11.4	0.57
2.最近、わが国のHIV感染経路は性行為によるものが最も多い(O)	191	85.3	7	3.1	26	11.6	83	86.5	3	3.1	10	10.4	275	75.1	24	6.6	67	18.3	549	80	34	5	103	15	0.02
3.治療薬の進歩で、HIVに感染してから発症するまで期間を遅らせる(O)	176	78.6	4	1.8	44	19.6	51	53.1	3	3.1	42	43.8	264	72.1	9	2.5	93	25.4	491	71.6	16	2.3	179	26.1	0.00
4.HIVに感染している妊婦から赤ちゃんにHIVが感染する可能性がある(O)	178	79.8	14	6.3	31	13.9	81	84.4	1	1	14	14.6	292	79.8	17	4.6	57	15.6	551	80.4	32	4.7	102	14.9	0.35
5.性感染症に罹っていると、HIVに感染しやすい(O)	154	68.8	21	9.4	49	21.9	56	58.3	8	8.3	32	33.3	197	54	27	7.4	141	38.6	407	59.4	56	8.2	222	32.4	0.00
6.健康に見えてもHIVに感染している可能性がある(O)	205	91.5	2	0.9	17	7.6	86	89.6	1	1	9	9.4	317	87.1	4	1.1	43	11.8	608	88.9	7	1	69	10.1	0.58
7.保健所では名前を言わずに無料でエイズ検査ができる(O)	155	69.2	16	7.1	53	23.7	61	63.5	5	5.2	30	31.3	252	68.9	20	5.5	94	25.7	468	68.2	41	6	177	25.8	0.62
8.HIV検査で感染がわかった場合、名前や住所が国に報告される(X)	36	16.1	88	39.3	100	44.6	8	8.3	35	36.5	53	55.2	37	10.1	99	27	230	62.8	81	11.8	222	32.4	383	55.8	0.00



## H21年度アンケート

# 男性患者さんへのアンケート

登録番号 \_\_\_\_\_

研究にご協力いただきありがとうございます。  
研究をより正確なものにするため、以下の質問にお答えいただきたいと思いますが、答えたくない質問には答えなくても結構です。

問1. 次の項目の該当する選択肢を○で囲んでください。

■ あなたの年齢は(数字を記入) \_\_\_\_\_ 歳

■ あなたは結婚していますか 1. はい 2. いいえ

問2. あなたは今回の受診以前に、医療機関で性感染症(クラミジア、淋病<sup>りんびょう</sup>などの性病)と診断されたことがありますか。  
(どちらかに○印、下線部に数字を記入)

1. はい  はいと答えた方  
そのときの病名は何と言われましたか。  
[ ]

2. いいえ

問3. 今回この医療機関を受診した理由は何ですか。(どれかに○印)

1. 症状がある →どのような症状ですか [ ]
2. 症状はないが心配
3. その他 [ ]

右上(問4)へ続く



問4. 過去3ヶ月間のセックスのときコンドームは使いましたか。(どれかに○印)

1. 一度も使用しなかった
2. 使用しないほうが多かった
3. 使用したりしなかったり約半々だった
4. 使用するほうが多かった
5. 毎回使用した
6. 過去3ヶ月間にセックスしていない

問5. 本日、次の検査を希望しますか。(いくつでも○印をしてください)

1. HIV 2. クラミジア 3. 淋病 4. 梅毒 5. HBs(肝炎)

問6. あなたは今までに HIV 検査を受けたことがありますか。  
受けたことがある方は、該当する回数にも○印をしてください。

1. はい … (検査回数は、1回 ・ 2回 ・ 3回以上)
2. いいえ

問7. あなたは自分が HIV(エイズウイルス)に感染する可能性はどの程度だと思えますか。(どれかに○印)

1. まったくない
2. 低いと思う
3. 中くらいと思う
4. 高いと思う

以上です。ご協力ありがとうございました。

## H21年度アンケート

# 女性患者さんへのアンケート

登録番号 \_\_\_\_\_

研究にご協力いただきありがとうございます。

研究をより正確なものにするため、以下の質問にお答えいただきたいと思いますが、答えたくない質問には答えなくても結構です。

問1. 次の項目の該当する選択肢を○で囲んでください。

- あなたの年齢は(数字を記入) \_\_\_\_\_ 歳
- あなたは結婚していますか      1. はい    2. いいえ
- あなたは妊娠されていますか      1. はい    2. いいえ

問2. あなたは今回の受診以前に、医療機関で性感染症(クラミジア、淋病<sup>りんびょう</sup>などの性病)と診断されたことがありますか。  
(どちらかに○印、下線部に数字を記入)

- 1. はい            はいと答えた方
- 2. いいえ            そのときの病名は何と言われましたか。

[ \_\_\_\_\_ ]

問3. 今回この医療機関を受診した理由は何ですか。(どれかに○印)

- 1. 症状がある →どのような症状ですか [ \_\_\_\_\_ ]
- 2. 症状はないが心配
- 3. その他 [ \_\_\_\_\_ ]

右上(問4)へ続く



問4. 過去3ヶ月間のセックスのときコンドームは使いましたか。(どれかに○印)

- 1. 一度も使用しなかった
- 2. 使用しないほうが多かった
- 3. 使用したりしなかったり約半々だった
- 4. 使用するほうが多かった
- 5. 毎回使用した
- 6. 過去3ヶ月間セックスしていない

問5. 本日、次の検査を希望しますか。(いくつでも○印をしてください)

- 1. HIV    2. クラミジア    3. 淋病    4. 梅毒    5. HBs(肝炎)

問6. あなたは今までに HIV 検査を受けたことがありますか。  
受けたことがある方は、該当する回数にも○印をしてください。

- 1. はい … (検査回数は、1回 ・ 2回 ・ 3回以上)
- 2. いいえ

問7. あなたは自分が HIV(エイズウイルス)に感染する可能性はどの程度だと思えますか。(どれかに○印)

- 1. まったくない
- 2. 低いと思う
- 3. 中くらいと思う
- 4. 高いと思う

以上です。ご協力ありがとうございました。

# 患者さんへのアンケート

登録番号 \_\_\_\_\_

研究にご協力いただきありがとうございます。日本のエイズ検査体制の向上のために以下の質問にお答えください。答えたくない質問はお答えにならなくても結構です。

問 1. あなたの性別をお答えください (〇は1つだけ)。

- 1. 男性
- 2. 女性
- 3. それ以外

問 2. あなたの年齢は (数値をご記入ください) \_\_\_\_\_ 歳

問 3. これまで、性感染症 (クラミジア、淋病、梅毒、性器ヘルペス、尖圭コンジリウマなどの性病) にかかったことがありますか? (〇は1つだけ)

- 1. いいえ
- 2. はい ⇒ 病名は何ですか? \_\_\_\_\_
- 3. わからない

問 4. 本日は、エイズ検査を受ける予定でこられましたか?

- 1. いいえ
- 2. はい

問 5. 本日は、無料でエイズ検査を受けられますが、受けますか?

- 1. いいえ
- 2. はい

問 5-1 「いいえ」の場合、理由は何ですか? (〇はいくつでも)。

- 1. 自分には関係ない病気と思うから。
- 2. 感染がわかたら困るから。
- 3. エイズは治療できないので、調べても無駄と思うから。
- 4. エイズを思わせる症状が自分にはないから
- 5. その他 ( \_\_\_\_\_ )

問 6. あなたはどのような場所でエイズ検査を受けたいと思いますか?

(〇はいくつでも)

- 1. どこでもよい。
- 2. 保健所等で夜間や休日などに受けたい。
- 3. 保健所等で平日に受けたい。
- 4. 大きな病院で受けたい。
- 5. 郵送のできる検査を受けたい。
- 6. この診療所のような場所で受けたい。

問 6-1. その理由は何ですか? (〇はいくつでも)

- 1. 慣れた場所だから
- 2. 性病の検査のついでにできるから
- 3. 先生が信頼できるから
- 4. 先生から説明を受けることができるから
- 5. その他 ( \_\_\_\_\_ )

問 7. あなたはこの診療所のような場所で受けるエイズ検査の値段についてどう思いますか? (〇はいくつでも)

- 1. 無料ならよい
- 2. 無料でなくても保険がきけばよい。
- 3. 無料でなくても、ある程度までなら自分で払ってもよい。どれくらいまでですか? ⇒ \_\_\_\_\_ 円まで
- 4. 値段は特に問題ではない。

問 8. どういう検査がいいですか? (〇は1つだけ)

- 1. その日のうちに検査結果がでる検査
- 2. 「その日のうちに検査結果がでる検査」でなくてもよい。
- 3. どちらでもよい。

以上です。ご協力ありがとうございました。

H23 年度アンケート

## 患者さんへのアンケート 登録番号 \_\_\_\_\_

調査へのご参加ありがとうございます。この調査は、医療機関におけるエイズ検査とエイズ関連知識の普及を目的として行っているものです。知識については、アンケートご回答後に、正解をお渡しします。答えたくない質問にはお答えにならなくても結構です。

問1. あなたの性別をお答えください (○は1つだけ)。

1. 男性    2. 女性    3. それ以外

問2. あなたの年齢は (数値をご記入ください) \_\_\_\_\_ 歳

問3. これまで、性感染症 (クラミジア、淋病、梅毒、性器ヘルペス、尖圭コンジローマなど) にかかったことがありますか? (○は1つだけ)

1. いいえ  
2. はい    ⇒ 病名は何でしたか? \_\_\_\_\_  
3. わからない

問4. これまでエイズ検査を受けたことがありますか?

1. いいえ  
2. はい → 受けた回数は何回ですか? (○は1つだけ)  
a. 1回  
b. 2回  
c. 3回以上

問5. 本日は、エイズ検査を受ける予定でこられましたか?

1. いいえ    2. はい

問6. 本日は、無料でエイズ検査を受けられますが、受けますか?

1. いいえ    2. はい

問7. 現在、あなた自身が性行為によってエイズウイルスに感染する可能性はどのくらいあると思いますか? (○は1つだけ)

1. まったくないと思う。  
2. 低いと思う。  
3. 中くらいと思う。  
4. 高いと思う。

問8. 次の情報は正しいと思いますか、正しくないと思いますか? それぞれについて当てはまるところに○をつけてください。

	正しい	正しくない	わからない
1. 最近、わが国のエイズウイルス感染者数は増加している。 ➡			
2. 最近わが国のエイズウイルスの感染経路は性行為によるものが最も多い。 ➡			
3. 治療薬の進歩で、エイズウイルスに感染してから発病するまでの期間を遅らせることができるようになった。 ➡			
4. エイズウイルスに感染している妊婦から赤ちゃんにエイズウイルスが感染する可能性がある。 ➡			
5. 性感染症(性病)にかかっていると、エイズウイルスに感染しやすい。 ➡			
6. 健康に見えてもエイズウイルスに感染している可能性がある。 ➡			
7. 保健所では名前を言わずに無料でエイズ検査ができる。 ➡			
8. エイズ検査で感染がわかった場合、名前や住所が国に報告される。 ➡			

以上です。ありがとうございました。